



国際ロータリー第2500地区第3分区

Asahikawa Morning Rotary Club



# 旭川モーニングロータリークラブ会報

ホームページ <http://www.asahikawamrc.com/>

第1126回例会 № 40

5月の月間テーマ 青少年奉仕月間

平成29年5月18日（木） AM7:30~8:30

本日の例会プログラム 次年度5大委員長活動方針

場所 アートホテル旭川 15F MINORI

## 会長の時間 日本の商人道とロータリー理念（2） 河崎 高麗男 会長



先週13日、釧路ベイRCの創立20周年記念式典に出席して参りました。350名からの出席者が集まり大変盛大な式典でした。

また「ロータリアンよ・大志を抱け」と題して、東京銀座RCの市川伊佐夫パストガバナーの特別講演があり、ロータリーの歴史を理解しもっと勉強し行動してほしいと訴えておりました。私は市川パストガバナーの講演を聞くのは2回目ですが大変感銘を受けました。ロータリーを理解する書籍は沢山ありますので、ぜひ読んでロータリーの理解に努めてほしいと言っておりました。

先週は三方よし、富山の葉売りの『先用後利』の紹介をさせて頂きましたが、本日は『先義後利』について紹介したいと思います。

「義を先にして利を後にする者は栄える」と大丸の初代下村彦右衛門が1736年（元文元年）に掲げた信条です。大丸のウェブサイトには「企業の利益は、お客様・社会への義を貫き、信頼を得ることでもたらされる。との意味で、言い換えると『お客様第一主義』『社会への貢献』となります。これは「大丸グループ共通の精神、営業方針の根本となっています」と解説されています。

後年（1837年：天保8年）大阪で大塩平八郎の乱が起こった時、大塩は「豪商らに天誅を加えるべし」と檄文を農民に回し、決起して船場の豪商たちの家を焼き討ちするのですが、大丸だけは焼き討ちを免れ無傷でした。大塩が「大丸は義商なり、犯すなかれ」と言ったからです。「先義後利」は単なる信条ではなく、実際にそのような商いを実践し、世間の信用を得ていたから焼き討ちを免れたのでしょう。ちなみに、大丸の代々社長は、大阪RCの会員で二人の地区ガバナーも輩出しています。

### 石田梅岩（1685-1744 / 石門心学の開祖）の「売利の本質」

「実の商人は、先も立ち、我も立つことを思うなり」武士は主君に仕えて俸禄を得るが、商人は万人に奉仕して利益を得ることが出来る。だから、正しい商いをしてこそ継続的に一定の利益が得られる。

鈴木正三という方は江戸初期の曹洞宗の僧侶で在家の人びとに『萬民徳用』を執筆して、日々の職業生活の中での信仰実践を説いた『萬民徳用』は、商家で丁稚の手習いや寺子屋の読み書きの教科書として使用されたそうです。

「売買せん人は、まず得利の増すべき心づかいを修行すべし。その心づかいと言うは他の事にあらず。身命を天道に投げうって、一筋に正直の道を学ぶべし。正直の人には、諸天の恵み深く、仏陀神明の加護あって災難を除き、自然に福をまし、衆人愛敬、浅からずして万事心にかなうべし、と言われていたそうです。

### 二宮尊徳（1787-1856）の「報徳の教え」

江戸時代後期の農政家、二宮尊徳のことを「ロータリー以前の偉大なロータリアン」と評する人もいます。

「人のために善を尽すことが、やがて自らを利することになる」。

湯に入って、お湯を手で己れの方に搔けば、湯は我が方へ来るようだが、すぐ向こうへ戻ってしまう。反対に、向こうへ手で押しやれば、やがてわが方へ流れ帰る。少し押せば少し帰るし、強く押せば強く帰る。これが「天理」というものであると言われてしています。

以上、日本近世の商人道の中に、ロータリー理念との共通点を探ってみました。皆さんはどうお感じになったでしょうか。

ロータリーの「職業奉仕理念」の信奉者が特に日本に多いのは、以上見てきたような正しい商いのあり方を指し示した日本近世の商人道という文化的・倫理的背景が私たち日本人の土台にあるからではないかと思えてなりません。

## 第1126回例会 会務報告 小川 伸治 幹事



- 1) ひろくんを救う会事務局より、募金に対する礼状 收受。
- 2) 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、ハイライトよねやま206 收受。
- 3) 旭川市内6ロータリークラブより、会報4月分 收受。
- 4) 日本国際飢餓対策機構より、飢餓対策ニュース№322 收受。

## ニコニコボックス ご芳志者名簿 親睦委員会 木村 和哉 委員長

### 小林 陸明 会員

先週は誕生日のお祝いを頂きまして誠にありがとうございました。さて、ここからは告知です。今月26日プレミアムフライデーよりアートホテル旭川1階ビアテラスがオープン致しますので、皆様の片隅に置いて頂けると幸いに存じます。何卒、宜しくお願い致します。

### 武田 昭宏 会員

先週、北海道事業振興部発注の神居ダム電気工事（¥195,470,000-）で落札致しました。この案件も2年間のおかげでした。今年度、私の担当案件は北海道開発局の大型工事を1件もっております。また、ニコニコで発表できれば良いかなと思っています。

### 石川 千賀男 会員

全国で110個目、全道で7つ目、旭川龍馬の会を15日立ち上げました。詳しくはいずれ時間を頂いてお話ししたいと思います。坂本さん入会ありがとうございます。

### 林 雅美 会員

先日は素敵なバースデープレゼントありがとうございました。明日から10日間のアメリカに研修出発です。収穫の多い旅になりますように。

5月18日 4件 10,000円 2016~2017年ニコニコボックス 累計金額 305,000円

## モーニングRC 出席報告 例会運営委員会 井上 雄樹 会員

- \* 本日の出席 第1126回例会 総員 26名  
5月18日 出席 21名 出席率 80.77%
- \* 修正出席 5月4日例会休会でしたので、修正出席はございません。
- \* ビジター ございません
- \* メークアップ 5月15日 福居恵美子（旭川南RC）

## 次年度会長活動方針 次年度会長 安井 裕子 会員



2017～2018 RI会長 イアンH・Sライズリー会長は「ロータリーに変化をもたらす」をテーマとしています。私にとってロータリーとはどのような団体か？ではなく、何をしているのか？で定義されています。

ロータリアンである私達はこれまでよりも柔軟にクラブの例会、活動、発展の方法を決定出来、またもっと多くの女性や多様な会員を迎え入れ、長期計画、持続可能な奉仕、全レベルでのリーダーシップの継続性を重視することで世界有数のボランティア組織であり続けるよう努力しています。と謳っています。

成瀬則之ガバナーは、今こそ行動を・・・クラブが元気になる為に・・・そして私達の未来の為に・・・をテーマとされています。  
地区目標は6項目です。(地区活動計画を参照下さい)

では、我がクラブの目標といたしましてですが、テーマは「お互いの価値観を大切に、より強い絆、より深い友情で行動を共に・・・」です。

情報の共有化、風通しの良い環境、会員全員が参画する委員会活動、そこに親睦が図られ、世界で、地区で、そして地域で貢献する事が出来るのではないかと考えます。

例会では出来る限りの発言の場を設けて会員を理解する事を行います。クラブ設立25周年の節目。4半世紀の歴史を経て旭川モーニングロータリークラブは発展途上です。伝統とは変えてはならないもの、伝承とは変えていかなければならないもの、その融合をして、会員増強をし、新たな進化を遂げてゆく事が必要と考えます。

### 「クラブ目標」

1. 会員増強と維持活動の推進 【3名】目標
2. ロータリー財団、米山奨学会の理解と支援
3. MY ROTARYに登録を
4. 25周年行事の実施

みんなのためになるかどうか？ 皆さんご支援願います。

## 次年度5大委員長活動方針 クラブ管理運営委員会 嵯城 俊明 会員



今年のテーマは「ロータリー：変化をもたらす」です。

ロータリーとはクラブを基盤とした団体であり、クラブが元気であることが、地区を元気にする源になり、私たちの未来へつながるとRI会長、地区ガバナーが声明を出されています。

安井会長はそれを受けてクラブ内の会員の理解と親睦を深め、強化することを声高らかに宣言されました。理解の強化を例会運営委員会が担当し、深めゆく親睦を親睦委員会が担当していきます。

「クラブ奉仕」は言い換えれば「クラブ愛」とも言えるのではないのでしょうか。愛が溢れるクラブになるよう、委員会が一丸となってそれぞれの身を捧げで参ります。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

### 例会運営委員会

会員間のコミュニケーションが図られることが例会運営の大きな目的であると考えております。理解・親交・信頼を深めるために、時には忌憚のない意見交換の場を設けたいと思います。

#### ～活動方針～

1. 出席率向上への取り組み：4回連続での欠席の場合は、会長または幹事が近況報告を含め面談を行う。
2. 四つのテストの唱和
3. 会員スピーチ：自分自身を会員に理解してもらおう場として可能な限り多くの会員にスピーチをお願いしたいと思います。
4. 委員会スピーチ：各委員会の活動、目的を全会員で共有できるようにスピーチをお願いいたします。
5. ゲストスピーチ：会員の人脈から多彩なゲストをお招きし、知識・理解を深めます。

### 親睦委員会

深めゆく親睦とクラブ愛をモットーに掲げ、各委員会と協力・連携を図り、委員会が楽しく、例会が楽しくなるよう心掛けます。より会員一人ひとりが明るく楽しく結束できるよう、密にコミュニケーションを深める委員会活動を企画してまいります。皆様に喜んで頂けるよう、企画を考えておりますが会員の方々やご家族のご要望やご意見をいただきながら親睦委員、力を合わせて進めて参ります。

#### ～活動方針～

1. 出席率向上への取り組み
2. 紅葉会、クリスマスファミリーパーティー、観桜会など夜間例会を企画し、親睦を深めます。親睦委員が少ないため、全会員に担い手としてのお手伝いを要請します。
3. 毎月第1例会には誕生会を行い、プレゼントを贈り、会員全員でお祝いします。
4. ニコニコボックスの発表を沢山出来るよう、積極的に活動致します。

## 次年度5大委員長活動方針 会員組織委員会 河崎 高麗男 委員長



会員組織委員会には「会員増強委員会」委員長竹村陽子会員、委員には桑原義彦会員「会員研修委員会」委員長小柳裕子会員 委員には飛弾野正幸会員の2つの委員会があります。この2委員会力を合わせ会員組織委員会を運営して行きたいと思っております。

### 会員組織委員会の基本方針

クラブ創立25周年を迎え会員増強と会員維持に努め、会員30名の確保を目指し新

入会員の入会を促進し、退会防止に現会員が協力し合って組織の充実を計りクラブの活性化を図る事とし、その実現に向けて他委員会との緊密な連携はもとより、全会員とのコミュニケーションを図り、より魅力的なクラブ活動に務め、会員一人ひとりが積極的に入会を勧める意欲を高められるよう先導しクラブ会員全員が取り組んで頂ける様推進してクラブの存続が確実になる様努力していきたくと思っております。

また、ロータリーでの第一歩を踏み出してもらうために新会員の積極的な参加を促し、ロータリーで実りある経験をしてもらうためのオリエンテーションを例年通り行い、入会者との絆を深め、活発な会員となってもらうための大切な機会であり、「入会してよかった」と思われるクラブとなるには、会員のニーズをしっかりと把握し、その期待に応えることが重要です。又、会員満足度アンケートを活用して会員のニーズを調べ会員からのフィードバックを提供してもらい、地域に貢献していると実感でき、仲間との友情を育むことのできるクラブとなるには、どうすればよいかを考えて診たいと思っております。

### 会員増強委員会

ロータリー112年の歴史は、常に地域社会と世界の重要課題に取り組み困難な事柄にもまた終息せずに現在に至るまで継続している課題にも力を注ぎ行動しています。

地域社会の変わりゆくニーズに対応しながら、有意義かつ実現可能な方法を見つけ取り組んできました。だれかのためにどこかのために役立ち、希望を与え豊かな未来が想像できるように、私たちは応援したいと思っております。

ロータリーの奉仕の理想と充実した奉仕の喜びを、分かち合える仲間を増やさなければなりません。MRCは、老若男女が手を取り合って奉仕の目標を掲げ、具体的な奉仕活動を続けています。

これからも、ロータリーに集った仲間を大切に、おおいに意見の交換をし、当クラブ独自の奉仕の理想を極めてまいりましょう。入会促進に真剣に向き合い、今年度は、新入会員3名を目標に会員各位のお力をお貸し下さい。未来のロータリーのために、そしてMRC25周年記念日をより多くの仲間とともに祝うことが出来ますことを祈念しております。

### 会員研修委員会

今年度も例年通りロータリー入会歴の浅い会員と共に学ぶ研修会を上期と下期に各一回、計画致します。研修を通してクラブ内の親睦が更に深まり、ロータリーの知識と情報を楽しく学び、共に成長し、楽しいロータリー活動が持続する様に推進して参ります。

## 次年度5大委員長活動方針 広報IT委員会 飯塚 達夫 委員長



ロータリアンの手引きによれば、  
・広報委員会の役目：一般の人々にロータリーについての情報を提供し、クラブの奉仕プロジェクトと奉仕活動を広報する計画を立て、これを実施する。

そこで、

・今年度の奉仕プロジェクトの計画に沿って、一般の人々に周知・参加

を呼びかける活動などを行います。

・引き続き「愛ロータリー」で読み所をご紹介し、「ロータリーの友」「MYROTARY」を通じて会員のみなさまへ、ロータリーの姿・使命を伝えます。

・これまで通り毎週発行の会報誌により、クラブ内の活動状況を随時お伝えします。また会報誌の名称をみなさまと一緒に考えてみたいと思っております。なお、会報誌の制作は編集担当者への負担が大きいことから、できる限り省力化を進めていきたくと思っております。

・マイロータリーへの登録をいっそう進めていきます。

・ホームページとSNS、フェイスブックといった若者向けのコミュニケーション手段をリンクさせて、より広くロータリーの魅力を広げてみたいと思っております。

## 次年度5大委員長活動方針 ロータリー財団・米山推進委員会 武田 明宏 会員



### ロータリー財団の使命

ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること

### ロータリー財団の標語

「世界でよいことをしよう」

ロータリーを理解する上で難解なものが2つあると言われていました。一つは「職業奉仕」であり、もう一つは「ロータリー財団」です。特に複雑すぎてよくわからない

ものとして「ロータリー財団」があります。

まず「職業奉仕」とはロータリー100年の歴史を語る上で金看板とも言える独特の奉仕概念です。

そして同様に「ロータリー財団」は100年の歴史を持つ奉仕の実践団体です。ではなぜそんな重要なロータリー財団がよくわからないと言われてしまっているのでしょうか。もしそのような状態であるなら、暖かい善意の心から発する財団・米山への寄付は存在していないはずで、ポリオ撲滅や平和の推進といった、ロータリー優先活動のために有効に活用され、財団の補助金は

### 重点分野として

- 1、平和と紛争予防・紛争解決
- 2、疾病予防と治療
- 3、母子の保護
- 4、水と衛生設備基礎教育
- 5、識字率の向上
- 6、経済と地域社会の発展

に持続可能な取り組みを可能とします。

ロータリー活動財団に関する認識を深め、財団についての理解と協力、また認証ポイントの活用（ポールハリスフェロー、マルチプルポールハリスフェロー）を最大限活用していく年にしたいと思っています。

財団なくしてロータリー活動はありえないと言われていました。地球上に一人の餓えたる者、一人の貧困や疫病に苦しむ者のいる限り、心の世界平和への到達は不可能であるとの思いから、ロータリアン一人ひとりの暖かい善意の心から自発的による一層の財団にご協力をお願い致します。

米山記念奨学会は「日本のロータリーの創始者」と呼ばれている米山梅吉翁の遺徳を記念して東京ロータリークラブが外国人留学生対象の奨学事業を始め45年前に財団法人として設立され在日外国人留学生を支援する奨学団体です。奨学事業の目的は「人づく」りにあり奨学期間を終えた米山学友として活躍されたいです。最も多いのは大学教員などの教育職です。二度の戦争の悲劇を繰り返さないために国際親善と世界平和に寄与したいという強い思いがあります。最大の特徴は「世話クラブ・カウンセラー制度」による心のこもった支援で役割は大きく今なお健在です。

10月 米山記念奨学金月間、11月 ロータリー財団月間におきまして、ぜひ今年も善意のある自発的なバランスの取れた心からの一層のご支援とご協力をお願い致します。

米山記念奨学金、ロータリー財団の寄付金には下限あり、上限なしです。

※今年度の下限とは[一人あたり10,000円以上（200ドル以上）]

## 次年度5大委員長活動方針 奉仕プロジェクト委員会 木村 和哉 委員長



今年度の奉仕プロジェクト委員会では、前年度及び歴代の活動を踏まえ地域に貢献するための企画・実行を基本とし自分たちのできる範囲で達成できる目標にしていきたいと思います。

その上で2500地区第3分区として全体で取り組めることはないか理事会と連携を図って行きたいと考えます。

また、数年間青少年の活動ができていないことや活動の広報も含め地域子供たちへの奉仕活動をしたいと考えております。難しいことは出来ませんのでシンプルにシンプルに運営したいと考えております。

### 【地域に貢献プロジェクト】

- 1.プロジェクトの意義を再確認
- 2.現状把握・何が貢献できるか意見交換・企画
- 3.予算に合った提案書を立案
- 4.実行・運営・達成

職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の4つの委員会と連携協力し、各委員会の活動目標がスムーズに達成できるよう協働してゆくなかで地域に貢献できることを考えます。

